

ご当地のマドンナが
案内する最旬の外遊びガイド



日本全県 アウトドア巡り

瀬戸内に浮かぶ百島で
サンセット・カヤッキング

(広島県・尾道市)

尾道駅すぐのフェリー乗り場から、わずか10分の船旅で到着できる百島。気軽な島旅を楽しんだ後は、百島が誇る美しい砂浜からカヤックで漕ぎ出し、サンセットクルーズを存分に楽しんだ。

その18

広島県

今月のマドンナ

ART BASE 百島
大橋実咲さん

元中学校を改装したアートセンター「ART BASE百島」チーフマネージャーを務める。学生時代には雑刀部。今でも日常的にランや水泳を楽しむスポーツウーマンだ。



今回初カヤックの大橋さん。大抵の人が簡単なレクチャーを受けただけで乗ることができる。



まずはガイドさんから
簡単なレクチャーを

尾道市外まで
カヤックで
行くことも!

今月の案内人

百島Net管理人
漆原雅利さん

サンセットクルーズや無人島キャンプツアーを手がける、百島ぎってのアウトドア人。モトクロスの元国際A級でメキシコのバハ1000にも出場経験あり!



黄金色に輝く瀬戸内海を漕ぐ!



百島を取り囲む瀬戸内海は、波も穏やかで、初めてシーカヤックをやるのにもピッタリの場所。最初はおっかなびっくりだった大橋さんもあっという間に乗りこなす。

元学校をリノベーション 懐かしさと新しさが 同居する アトスペース



日本を代表する現代アーティストの柳幸典氏が中心となって作り上げた「ART BASE百島」。元中学校を改装している、体育館の中に巨大な作品が展示されていたり、オイルで作った鏡のような作品があったりと見所たくさん。お札を砂で作って、それを蠟に掘らせることで完成するアートに唸る。

ART BASE 百島 広島県尾道市百島町1440
☎0848(73)5105 <http://artbasemomoshima.jp>

神戸から移住
してきました！

尾道駅からすぐ近く 自転車と泊まれる ホテル&レストラン



尾道は「しまなみ街道」の入り口。元倉庫を改装した「ONOMICHI U2」は、客室に自転車を入れることができるホテルを擁する複合施設。レストラン、カフェ、ショップなどもあり、尾道屈指の人気スポットだ。



ONOMICHI U2
広島県尾道市西御所町5-11
☎0848(21)0550
<https://www.onomichi-u2.com>

上は瀬戸田産塩レモンのピザ。蜂蜜をかけても美味。右は宮島産ムール貝と夏野菜のパスタ。どちらもサラダバー、パンブッフェ、ドリンクが付いて1500円。左はU2オリジナルの炭酸飲料ジューモット。料理に合うスッキリ系。



甘くて大振り！瀬戸の島いちご

百島はイチゴの産地としても有名。写真の西田さんファミリーは一昨年、神戸から移住してイチゴ農園を始めた。「島の人は皆親切で移住先としても最高ですよ」と西田さんも季節によってはイチゴ狩りも開催しているという。



百島は良い島だ。

尾道駅からすぐの船着き場から10分程度、人口5000人ちょっとの小さな島。驚いたのは、島の人たちが皆とてもフレンドリーなこと。けっして観光に特化した島ではないのに、見知らぬ観光客がウロウロしていてもみんな笑顔ですれ違ってもいい。元々は中学校だった場所を改装したART BASE百島に立ち寄りたり、農協をひやかしたり、イチゴ農園を見学したり、小さなビーチで昼寝したり……。小さな島ならではの、ゆったりした時間を楽しめる場所だ。

そして締めはサンセット・カヤッククルーズ。ガイドの漆原さんが「私が女性を案内したときに夕焼けが見れなかったこと

はありませぬ！」と豪語したとおり、この日も海は黄金色に美しく輝いた。マドンナ役の大橋さんも「陸から見るのとは全然違いますね」と、雲の隙間から差し込む光の筋に魅入っている。「夜になると、今度は夜光虫がたくさん出てきます。その中をカヤックで漕ぐと、それはそれは美しいですよ」と、漆原さんが帰りたくなるようなことをいったと思ったら、「少し西にある加島という無人島までカヤックで行って、そこでキャンプをすることもできるんですよ」と、さらに魅力的な提案をしてくる。「次は絶対、それやってみたいですよ」と、大橋さんが目を輝かせる。

「次こそは無人島キャンプ」と、心に決めつつ、帰りの船を待っている。「どこに行ってきたの？」と島のおばちゃんが声を掛けてくる。「ほかにも、良いところたくさんあるよ」と島の自慢を楽しそうに喋りだす。

うん、やっぱり百島は良い島だ。





百島の中には プライベート感ある 小ぶりなビーチが たくさん!

百島の外周は15km程度。船にレンタル自転車を積んでくれば、簡単に1周できてしまう。海沿いを走ればそこかしこに小さい魅力的なビーチがある。ピクニックランチを楽しんでも良いし、海沿い散歩も気持ち良い。出会った島のおばちゃん曰く「マナーさえ守ってくれば誰もうるさいことはないよ」とのこと。聞けば島外からBBQやキャンプに来る人も多いのだとか。それも納得のロケーションなのだ。

カヤックを漕いだ後は
冷たい飲み物がしみる〜!



この時期のカヤックでは、水分補給はマスト。冷たいドリンクをタンブラーに注いでグビグビ。真空断熱タンブラー／(右)JD E-340 340ml 3500円 (左)JD DE-420 420ml 4000円

穏やかな波打ち際を
ボトル片手にお気軽散歩



付属のコップへ注ぐスタンダードなタイプ。今回は一気に飲みたいので、あえてタンブラーに注ぎます。



島の北側には百島ブルーアイランドと名付けられた別荘地があり、そのビーチの美しさはピカイチ。一棟まるごと借りられる「隠れ家リゾート」サービスも展開。ステンレススリムボトル／FFM-500 0.5ℓ 4500円

潮風を感じながら
ピクニックランチを楽しむ



島のいたるところにあるビーチに共通しているのは、人工物がほとんどないこと。テトラポッドが視界を遮ることもないので、ランチをする場所としても最適なのだ。保温ごはんコンテナー／JBP-250 0.25ℓ 4000円